

神社と芸能
全3回

7月26日(日) ^{かみ よ ひびき}
天の巻 神代の響

8月9日(日) ^{うぶ すな まい}
地の巻 産土の舞

8月23日(日) ^{みそぎ ほろえ わぎ}
人の巻 禊祓の技

各回
午後2時開演(受付 午後1時)
午後4時30分終了(予定)
受講料 2,000 円

主催 兵庫県神社庁

〒650-0015 神戸市中央区多聞通 3-1-1

電話 078-341-1145 FAX 078-371-6015

<http://www.hyogo-jinjacho.com>

後援：兵庫県・神戸市・兵庫県教育委員会・神戸市教育委員会
(公財)兵庫県芸術文化協会・産経新聞社・神戸新聞社



会場 湊川神社神能殿

兵庫県神戸市中央区多聞通3-1-1

JR神戸駅より北へ徒歩7分、高速神戸駅東改札出ですぐ



平成 27 年度 神道連続講座「神道と日本文化」シリーズ

参 加 申 込 書

※郵送の方はコピーをお送りください。

●下記の通り申し込みます

平成 年 月 日

(ふりがな) 氏 名：	性 別	男 ・ 女	年 齢	歳
----------------	--------	-------	--------	---

住 所：〒 -

電 話：	F A X：
------	--------

<p>受講講座に <input checked="" type="checkbox"/> 印をご記入ください</p> <p>●希 望 日 <input type="checkbox"/> ① 7/26 天の巻 神代の響</p> <p style="padding-left: 20px;"> <input type="checkbox"/> ② 8/9 地の巻 産土の舞</p> <p style="padding-left: 20px;"> <input type="checkbox"/> ③ 8/23 人の巻 禊祓の技</p> <p>※ 受講料（各講座 2,000円）は申込書送付後、下記振込用紙にて 納入ください。</p> <p>※本申込書は、1枚につき1名様のお申込とさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">締め切り：各講座1週間前</p>

※この申込書でお預かりした個人情報につきましては、連続講座に関する連絡及び神社庁が主催・協賛する講演会等のご案内以外に使用致しません。

神社と芸能

民俗学者の折口信夫によると、「祭り」の中で神を招いておもてなしをすることから、「芸能」が発祥したと考えました。「神」と「人」が共に和み楽しむ「神人和楽」の世界を生み出す場として、神社における祭礼があり、そこから多くの芸能が生まれ、進化発展していった歴史があります。

兵庫県神社庁では、これまで神道や神社と日本文化の関わりについて、神道講座「神道と日本文化」シリーズとして隔年で実施してきました。今回の講座では「神社と芸能」をテーマに、神社の祭礼と深い関わりを持つ神道芸能の中から、「講演」と「公演」を通じてその発祥から継承に至る過程を紐解くことを主題に今回の連続講座を開催致します。

7月26日(日)
かみ よ ひびき
天 神代の響

神社の祭りは元来、終始厳粛なものですが、そこに音楽が奏でられることで、神聖さと神様を慰める効果が加わり「神人和合」の境地が生み出されます。本講では大陸から伝わり、日本で独自の発展を遂げた「雅楽」や「舞楽」、古来より奏でられてきた「御神楽」などの「祭典楽」を題材に、その歴史、神社との関わりについて学びます。

8月9日(日)
うぶ すな まい
地 産土の舞

兵庫県は、摂津、播磨、丹波、但馬、淡路の旧五カ国から構成されており、古来より山陽道、山陰道、南海道の交通の要所として、様々な文化が通過し、地域色豊かな文化が育まれてきました。それゆえ、「民俗芸能の宝庫」と呼ばれる芸能が今なお県内各地に残されています。本講では兵庫県内に今も伝わる幾つかの神事芸能を通じて、地域の神社の祭礼で奉納されている意義について学びます。

8月23日(日)
みそぎ はらえ わざ
人 禊祓の技

神社という場は、そこに集う人々の「穢れ(ケガレ・気枯れ)」を吸収し、消滅させる機能を持つ聖域です。古来、神社で演じられる芸能には、神主さんが祓串でお祓いをするのと同じように、人々の穢れを吸収する働きがあるとされてきました。本講では、祓えの芸である「筑紫舞」という神事芸能を通して、祓えの意味について学びます。

お申込み方法

「参加申込書」を切り取り、必要事項を記入の上、郵送または F A Xにてお申込み下さい。

郵送でのお申込み

〒650-0015 神戸市中央区多聞通 3-1-1 兵庫県神社庁 「神道連続講座」係

F A Xでのお申込み

078-371-6015

受講料

受講料 1 講座 2,000 円

「参加申込書」を F A X 等にて申込んだ後、下部の「払込取扱票」を切り取り、必要事項を記入の上受講料(参加回数分)を郵便局で事前にお振込み頂くか、当日受付でお支払い下さい。払込手数料は受講者にてご負担願います。

受領証以外の領収書の発行はできませんので、「振替払込請求書兼受領証」は大切に保管下さい。

また、当日受付での入金確認の際にご持参下さい。(A T M からの振込の際はご利用明細票)

※尚、申込み締切(講座1週間前)以後のキャンセルによる返金は一切できませんので予めご了承ください。

その他

ご来場の際は公共交通機関をご利用下さい。お車でお越しの際は近隣の有料駐車場をご利用願います。